

# 林茂氏旧蔵図書について (1)

## ——附、「林茂旧蔵図書」別置本仮目録 (1) ——

梅 村 恵 子\*

### List of Prof. Shigeru HAYASHI's Collection (1)

Keiko UMEMURA

#### 要 旨

平成11年に本学図書館に寄贈された、元東京大学社会科学研究所教授林茂先生の旧蔵図書について、その受け入れ経緯を記録し、寄贈図書の概要を説明し、一部の目録を掲載して、利用の便を図る。とくに最も貴重な政治パンフレット類の解説を試み、その価値を明らかにする。

キーワード 林茂旧蔵図書, 日本近代史, 日本政治外交史, 戦前期政治パンフレット

#### はじめに

平成11年、元東京大学社会科学研究所教授林茂先生の旧蔵図書が、本学図書館に寄贈された(以下「林茂旧蔵図書」と称す)。本稿では、その受け入れ経緯を記録し、寄贈図書の概要を説明し、一部の目録を掲載して、利用の便を図るとともに、「林茂旧蔵図書」の価値を明らかにしようとするものである。

#### 1. 林茂氏の略歴

林茂氏は明治45(1912)年和歌山県に生まれた(以下敬語は省略する)。東京帝国大学法学

---

\*教授 日本史学

部で岡義武に師事し政治学を専攻、日本政治外交史を専門とする。卒業後京城帝国大学法文学部助教授となり、戦後東京大学社会科学研究所助教授に転じ、教授に昇任後、社会科学研究所長事務代理等を歴任した。退官後は、神奈川大学・津田塾大学で教鞭を執り、昭和62(1987)年8月に死去した。

林氏は、在学中より吉野作造が設立し尾佐竹猛が引き継いだ明治文化研究会に参加するなど、日本近代政治外交史を学問的に研究の対象とした、いわば第一世代に属した。戦後は日本近代政治外交史の開拓者として研究を進めるとともに、学会の指導者として後進の育成を図った。

主な編・著書は以下の通りである。

『西園寺公と政局』（校訂）、岩波書店、昭和25年

『近代日本の思想家たち』、岩波新書、昭和33年

『大正デモクラシー期の政治』（校訂）、岩波書店、昭和34年

『平民新聞論説集』（共編）、岩波文庫、昭和36年

『明治文学全集第13巻 中江兆民集』、筑摩書房、昭和41年

『近代日本政党史研究』、みすず書房、平成8年（没後編纂、年譜と著作目録がある）

## 2. 「林茂旧蔵図書」の概要と受け入れ経緯

「林茂旧蔵図書」の中で最も重要なのは、林氏が古書店より購入収集した、明治以後の政治関係の小冊子と官庁などの部内資料である。前者は質量ともに豊富であり、たとえば戦前のロンドン海軍軍縮問題を非難する小冊子のような、政治パンフレットが多数存在する。後者は数こそ少ないが、大本教弾圧に関する司法省の資料など、貴重な物が多い。

つぎに伝記類も豊富で、稀覯本に属するものが、丹念に収集されている。ほかに、林氏の専門から、日本政治史を中心とする社会科学系の研究書、刊行史料、目録、雑誌、新聞がある。

林氏の死後、書籍類は君代夫人が管理していたが、平成11(1999)年2月に死去した。その後、遺族室賀脩氏（林氏の甥、当時銅管ドラム(株)常勤監査役）、林氏が生前全ての書籍の寄贈を望んでいたオックスフォード大学のストックウィン教授（林氏の弟子でもある）、君代夫人が相談することを望んだ東京大学史料編纂所宮地正人教授（同じく林氏の高弟である）の間で、林氏の旧蔵図書に関して相談がもたれた。

オックスフォード大学側の意向は、旧蔵図書のうち、一部しか受領できないということであった。そのため、林氏が収集した政治関係の小冊子のコレクションを分散していいかという点と、一般の刊行図書をいかに散逸させないかという点が問題となった。議論の詳細は不明であ

るが、結果として、以下の方針が固められた。

- ①林氏が収集した、同時代的な政治関係の小冊子は、原史料ともいべきもので、分散させず保存することが望ましい。よって日本で一括受け入れの場所を探す。
  - ②一般の刊行図書は、ストックウイン教授が優先的に選択し、イギリスのオックスフォード大学が受け入れる。残りの刊行図書は日本で受け入れ場所を探す。
- 以上の方針で、宮地教授が受け入れ先を探すこととなり、本学史学科に打診があった。史学科として検討した結果、以下の理由で受け入れが妥当と判断した。
- ①日本近代政治史経済史の研究書・史料、伝記が豊富であり、本学所蔵図書と重複が少ない。特に史料と伝記類は、学生の教育に有益である。
  - ②同時代的な政治関係の小冊子には貴重なものが多い。
  - ③学生が同時代的な政治関係の小冊子を実際に手に取ることは、学生に時代の雰囲気を実感させ、教育上有益と考える。
  - ④史学科教員の研究にも有益である。

そこで、図書館（当時松井透図書館長）・図書委員会と相談の結果、以下の各項を条件として受け入れが決定した。

- ①重複本・不要本の廃棄は全て川村学園女子大学図書館が行う（重複本は受け入れない）。
- ②上記の判断は史学科が行い、整理後図書館が引き継ぐ。
- ③運送費を大学は出さない（実際は遺族の負担と史学科教員のカンパで賄った）。
- ④寄贈本を林文庫として別置することは約束できない。図書館は文庫を設置しないことを原則とする。但し、寄贈印は捺す（案：「林茂氏寄贈図書」）。
- ⑤整理は、図書館の人員の関係上、10年は必要。将来的には何らかの目録を作成したい。

遺族の室賀氏はこの条件を了承したので、本学図書館で受け入れることとなった。

その後宮地教授・本学教員とストックウイン教授の折衝の結果、1613冊が、オックスフォードに寄贈された。本学には、平成11年9月、ダンボール箱192箱が寄贈された。冊数は、棚数から概算して約7000冊、但し小冊子は薄いものが多く、若干増えると予測した。

### 3. 整理の方針

前項で述べた経緯から、史学科で受け入れ図書の選別を行うこととなり、西川誠を中心として作業に着手した。図書を検討するにつれ、「林茂旧蔵図書」が明治期発行の稀覯本等を含む貴重なもので、特に小冊子は、重要なコレクションであるとともに、保管が困難であることが

あらためて確認された。本学図書館は開架を基本とし、また文庫を設けないことを原則とするが、破損のおそれのある小冊子を補修もせずの開架にするのは管理上問題である。そこで図書館と相談の上、「林茂旧蔵図書」のなかで貴重図書を管理上別置することとなった。その基準として、表1を定めた。図書の外観で判断するという乱暴な分類ではあるが、概して貴重書を別置する基準とはなったと考えている。

表1 別置の基準

	明治	大正	昭和戦前	戦後
①ハードカバー	別置	一部別置 (1)	一部別置 (1)	開架
②ソフトカバー	別置 (2)	別置 (2)	別置 (2)	開架
③小冊子	別置	別置	別置	別置
④官公庁内部資料	別置	別置	別置	別置
⑤雑誌	別置 (3)	別置 (3)	別置 (3)	一部別置 (3)
⑥和装本	別置			
⑦簡易製本史料・目録	別置 (4)			
⑧その他	別置			

- (1) 痛みの激しいもの、自費出版、稀覯本を別置。冊数が少なく個別に判断した。  
 (2) 小冊子と同様の扱いとする。痛みも考慮。  
 (3) 戦前の雑誌は系統だって集められたのではなく、当時の政治情勢を知る史料として収集されたと考える。戦後も一部同様。  
 (4) 保管の都合上。補強製本後、開架に移す。

別置本を設定することで、以下の手順で整理することとした。まず西川誠を中心とする史学科教員が、不要本の選定を行い（廃棄）、受入本の別置か開架かを分類する。表1の「①－戦後」を中心とする開架分は、図書館に引き渡し、順次整理・登録を行う。登録が全て完了したのち、史学科教員がデータを整理し目録を作成する。寄贈図書には、その旨の印を捺す。

③を中心とする別置分は、史学科教員が仮整理を行い、2年を目途に仮目録を作成し、紀要などで発表し、閲覧の便を図る。

こうして平成11年秋から、学生の協力も得て、平成12年3月迄に別置と開架の一応の分類が終了し、引き続き別置本の目録の作成に取りかかり、平成12年9月に完成した。仮目録は、以下の方針で作成した。

まず、本登録していない図書であり、分類記号は付けられない。そもそも図書の分類は、ライブラリアンの専門的知的作業であり、史学科教員のなしうることではない。そこで保管形態に対応して、便宜的に、表1の、①の別置、②～⑤、⑥、⑦、⑧を分類項目とした。次に別置

本の仮目録作成を急いだ理由は、遺族へ謝意、社会への公開の必要性、学生の利用の便である。別置本の特徴は、学生の教育上から見れば、時代が感じられるという点にある。そこで、分類項目（細目を立てた場合もある）の中では、原則として発行年による整理とした。ある年を集中的に閲覧することは学生の学習上利点があり、また公開という点では発行年・著者・表題をみれば検索しうるであろう。発行年による分類という通例と異なる分類を採用したが、仮目録であることを勘案し諒としていただきたい。なお仮目録の表題は、「林茂旧蔵図書」別置本仮目録」とした。

#### 4. 「林茂旧蔵図書」別置本の概要（表1②～⑤の明治大正期史料について）

本項では「林茂旧蔵図書」別置本の概要を紹介し、その史料価値を述べたい。「林茂旧蔵図書」別置本の中心は小冊子類（表1②～⑤）であり、まずそれを概観しよう。収書の特徴は、幅広く近代政治史の重要な問題に関する刊本を集めている点である。初期議會を例に取れば、明治20年頃から議會開設に向けた動きが始まっていることが窺える史料（『政界激派 国民之意見』〈明治20年〉）から、第一回選挙（『帝国議員選挙論』〈明治23年〉）、初期議會で大きく問題となった民力休養論（『地租税率軽減論』〈明治23年〉）、予算議決権に関する藩閥政府の統一見解（『憲法六十七条ニ関スル意見』〈明治24年〉）、第二議會と解散その後の干渉選挙（『撰挙実録』〈明治25年〉）と、「林茂旧蔵図書」別置本を追うことで政治の大きな流れが把握できる。この点では、学生への教育という点では裨益するところ大である。

ところが逆に、テーマに絞った収集ではないために、「林茂旧蔵図書」別置本のみで一つのテーマをかなりの部分まで調べることは難しい。

したがって、収書の史料価値を概括して紹介するのは困難であるが、眼に付いた史料を紹介することで、解題としたい。なお、古代史を主たる研究領域とする筆者にとって史料の専門的評価を下すのは困難であるため、西川誠の意見を参考としたこととお断りしておく。また本稿では、紙幅の都合上明治大正の史料を紹介し、巻末に昭和12年までの目録を付すこととする。昭和の史料紹介と昭和13年以後に関しては、次の西川誠執筆分を参照していただきたい。

おおよそ時代順に紹介しよう。まず長野県の民権結社である、奨匡社関係の文書が目につく。現在は史料集が刊行されているが（「林茂旧蔵図書」⑦の中にもある）、貴重な原史料である。

政党関係では、各政党の党報、議會報告書といった、政党の活動の基本史料が少しずつではあるが集められている。近年近代史料の翻刻が続き、党報も柏書房から翻刻出版されているが、貴重な史料である。なお「林茂旧蔵図書」開架分にも翻刻された『自由党党報』や『政友』が

ある。ところで『憲政党党報号外』（明治32年4月10日）は、柏書房翻刻版には収録されていない。本書は演説会筆記であり、翻刻版に入らなかったのかも知れないが、出版当時確認できなかった可能性もある。内容は、板垣退助・星亨らの演説で、憲政党と第二次山県有朋内閣が提携した理由などが述べられており、興味深い史料である。

明治期で多いのは足尾銅山鉍毒事件関係と田中正造関係の史料であり、14点を数える。林氏は、一つには『田中正造全集』の出版にも関与しており、熱心に集めていたのであろう。今一つには、林氏が編者となった『日本政治裁判史録』編集の為の収集もあると考えられる。

『日本政治裁判史録』編集の為という点では、日比谷焼打ち事件の裁判記録（『兇徒聚衆被告事件予審記録 第一』〈明治38年カ〉など）やその「五周年記念」誌として出された『嗚呼九月五日』（明治42年）、大日本精糖による代議士収賄事件である日糖疑獄の予審記録（『日糖事件記録』〈明治42年カ〉）、幸徳秋水が起こした大逆事件の裁判記録（『明治四十三年特別第一号』〈明治43年カ〉）も存在する。もちろん検察側の史料ではあるが、事件の概要が少なくとも検察側の観点から判明するであろう。なお『日本政治裁判史録』は「林茂旧蔵図書」開架分の中にある。

官庁史料がかなり存在するのも特徴である。特に外務省関係が多い。『日本外交文書』が刊行されているとはいえ、これらの史料は、事件の経緯が史料を基に容易に把握できるという利点がある。例えば『日英条約改正記事』（明治27年カ）、コピーではあるが『太平洋問題研究資料第九 ヤップ島問題経過』（大正10年）などである。公表する目的で作成されたとはいえ、『一九二四年米国民法制定及之ニ関スル日米交渉経過』（大正13年）も経緯を辿るのに便利である。なお「林茂旧蔵図書」別置本の「戦前期洋装図書」中にも『日独戦役講和準備委員会会議録』など、部外秘の外務省史料が数点存在する。また私企業であるが『韓国ニ於ケル第一銀行』（明治41年）も内部資料を用いて作成されたもので、部外秘扱いであったと考えられる史料である。

大正10年代になると、無産運動を中心とする政治パンフレットが増加する。幅広い収集であることを考えれば、実際パンフレットが増加したのであろう。大正後期には、革新派が叢生し、左右を問わず既存の政治体制を変えようというエネルギーが溢れてきた。そうした人々がとった表現形態が、パンフレットであった。

最後に、女性史の視点から興味深い史料として『娼妓存廢内外大家論集』（明治33年カ）を紹介しよう。発行年は、執筆者の肩書きから明治33年頃と考えられる。明治であり現に存在しており当然かも知れないが、「大家」が公娼制度維持を主張していること、当時自由廃業（娼妓には廃業権があるという考え方）が問題となっていることなどが窺える史料である。

「林茂旧蔵図書」別置本 仮目録 (1)

- 凡例 (1) 書名／編著者／出版社／発行年 の順である。書名／編著者／出版社の欄に目録作成者が注記した場合は〔 〕を用いた。表記には、常用漢字を用いた。
- (2) 雑誌などの定期刊行物は、※を最初に付けた。巻号は洋数字を用い、全て〔 〕を付けた。特集がある場合は、巻号の次に記載した。また発行年月日まで記載した。 例：※国民雑誌 〔第3巻第9号附録〕 江戸時代史／ 国民雑誌社／明治45年5月1日
- (3) 編著者・出版社は、表紙・奥付を元に作成した。不明の場合は書中の署名などで判断したこともある。
- (4) 小冊子類・私家版には、表紙に書名と作成者のみということが多い。そうした場合は、原則的に編著者と出版社の両方に書き入れた。仮目録であり、このデータをどう変更するかわからないためである。 例：自治行政論／都筑馨六／都筑馨六／明治25年
- (5) 形態上等の注記は、発行年のあとに(注)として最小限書き加えた。
- (6) 各年の順序は、書籍五十音順、雑誌五十音順、年代推定本五十音順である。
- (7) 閲覧を希望する場合は、必ず図書館に閲覧可能か確認していただきたい。

【A】政治関係小冊子類 (本文表1②～⑤の別置本の目録)

(1) 昭和12年まで

【明治8年】

政体心得草／中金正衡編／目耕書肆蔵版／明治8年

【明治11年】

共存同衆年会始末／ 明治11年 (注) コピー、綴済

【明治13年】

改正 奨匡社規則／ 明治13年

奨匡義塾規則 奨匡義塾内則／ 明治13年

奨匡社 設立ノ檄文及ヒ其規則／ 明治13年

筑前共愛公衆会第貳期会議案緒論／ 明治13年

町村会規則書式／ 明治13年カ

【明治14年】

興亜大阪分会報告書 第一集／山本鏗一編／興亜大阪分会／明治14年

【明治15年】

国権奮起 政論軌範／長谷川春／同盟書房／明治15年

纂評 大隈君財政要覧／木滝清類／木滝清類／明治15年

自由党雪冤録／藤井麗輔／藤井麗輔／明治15年

立憲改進黨諸名士 政談演説筆記／平沢寛柔／平沢寛柔／明治15年

【明治16年】

維新以来町村沿革／／／明治16年 （注）写本

時勢論／田口卯吉・大井通明／経済雑誌社／明治16年

【明治18年】

旧警視隊第一次紀念会雑誌／／／明治18年

護国問答／本間正乗／本間正乗／明治18年

文学叢書 第一冊／有賀長雄／丸善商社書店／明治18年

文学叢書 第二冊／有賀長雄／丸善商社書店／明治18年

【明治19年】

薩長論／福地源一郎／日報社／明治19年

【明治20年】

将来之日本 三版／徳富猪一郎／東京 経済雑誌社／明治20年（3版，明治19年初版）

政海激波 国民之意見／池田忠五郎／開成堂／明治20年

【明治21年】

改進黨論／市嶋謙吉／桜井産作／明治21年

憲法之理由／矢部積蔵／文盛堂／明治21年

新潟県地価持姓名録／三沢英吉編／桜井産作／明治21年

夢幻現象 政海之破裂／井口元一郎〔北海散史〕／明昇堂出版／明治21年

輿論公議 通俗政談第一卷／吉田熹六／東京集成社／明治21年

※国民之友 〔第20号〕／／民友社／明治21年4月20日

【明治22年】

国体発輝／内藤恥叟／博文館／明治22年

実用演説法／伊東洋二郎／三輪静観堂／明治22年

条約改正叢談／安住佐太郎／日本書籍会社／明治22年

日本国防論／垣田純朗／東京民友社／明治22年

乱世の英雄 第壹編／大西敬太郎／大和屋／明治22年

【明治23年】

板垣南海翁之意見〔2冊合綴〕／①吉田魁光編②郷敏儒編／①郷敏儒②吉田魁光／明治23年

群馬県貴族院 多額納税者列伝／山中啓一／白峰堂／明治23年

上毛衆議院議員 候補者小伝／山中啓一／白峰堂／明治23年

政党論／中村信次郎／高崎書房／明治23年

地租税率軽減論／成田忠平／成田忠平／明治23年

帝国議員選挙論／小林栄智／阪上半七／明治23年

何をか政党と云ふ／末広重恭／嵩山堂出版／明治23年

【明治24年】

漢城之残夢／井上角五郎／春陽書樓／明治24年（2版，同年初版）

憲法第六十七条ニ関スル意見／井上毅／井上毅／明治24年

国家経済会報告 号外／大島貞益編／国家経済会／明治24年

自由党大家演説／溝口岩吉／公報社分局／明治24年



日本人／三宅雄二郎／政教社／明治24年

露国皇太子御遭難始末／〔近江新報社〕／近江新報社／明治24年カ

【明治25年】

自治行政論／都筑馨六／都筑馨六／明治25年

失策又失策／末広重恭／嵩山堂／明治25年

政党論／森本確也／森本確也／明治25年

撰拳実録／民友社／民友社／明治25年

朝野叢書 非民党／鈴木次郎／朝野新聞社／明治25年

内地雑居講究会報告 第二／辻治之編／内地雑居講究会／明治25年

民政論／都筑馨六／都筑馨六／明治25年

民党政治の方針／島田三郎述／毎日新聞社／明治25年

明治英傑詩纂／内山正如／博文館／明治25年

吏民成敗論／野村庄之助／東京堂／明治25年

※改進黨新聞 号外 改進黨議員集会所第三回議會報告／／三益社／明治25年7月4日

※党報 〔第17号〕／／自由党党報局／明治25年7月25日

※党報 〔第19号〕／／自由党党報局／明治25年8月25日

※党報 〔第20号〕／／自由党党報局／明治25年9月10日

【明治26年】

井上博士と基督教徒／関臯作／関臯作〔哲学書院〕／明治26年

井上博士と基督教徒 続編／関臯作／関臯作〔哲学書院〕／明治26年

井上博士と基督教徒 収結編／関臯作／関臯作〔哲学書院〕／明治26年

大村益次郎先生伝／村田峰次郎／稲垣常三郎／明治26年（2版，明治25年初版）

海軍改革建議案／〔杉田定一ほか〕／〔杉田定一ほか〕／明治26年

現時之社会主義／垣田純朗／民友社／明治26年

皇室御史／広池千九郎／史学普及雑誌社／明治26年

山陰漫遊演説／佐々木習最／速記社／明治26年 （注）自由党総理板垣退助の演説

大衝突碑／三沢盛三／桂叢社／明治26年

大東合邦論／森本藤吉／森本藤吉／明治26年

日本国家学談 一名公爵会談話／宮地巖／高知堂／明治26年

輸出税全廃を賛成する理由／嶋田三郎述／毎日新聞社／明治26年

※精神 号外 貴族院議員陸軍中將男爵小沢武雄君諭旨免官始末／／精神社／明治26年12月8日

※党報 〔第28号〕／／自由党党報局／明治26年1月15日

※党報 〔第29号〕／／自由党党報局／明治26年1月28日

※党報 〔第30号〕／／自由党党報局／明治26年2月10日

※党報 〔第31号〕／／自由党党報局／明治26年2月26日

※党報 〔第32号〕／／自由党党報局／明治26年3月18日

※党報 〔第33号〕／／自由党党報局／明治26年3月25日

※党報 〔第35号〕／／自由党党報局／明治26年4月27日

※党報 〔第36号〕／／自由党党報局／明治26年5月10日

※党報 〔第37号〕／／自由党党報局／明治26年5月27日

※党報 〔第38号〕／／自由党党報局／明治26年6月11日

※党報 〔第39号〕／／自由党党報局／明治26年6月26日

【明治27年】

金玉均銃殺事件／名倉亀楠／名倉亀楠／明治27年（3版，同年初版）

自由党之所謂政治問題 東京日々新聞文庫／〔珂南生カ〕／越山太刀三郎〔日報社〕／明治27年  
戦争哲学一斑／井上円了／哲学書院／明治27年

第一区衆議院議員選挙人投票結果細見録／粘華堂主人／粘華堂主人／明治27年 （注）山形県第一区  
第五議會解散始末／有田紫郎／めざまし新聞社／明治27年

対清対欧策／渡辺修二郎／奉公会／明治27年 （注）表紙裏に「秋山定輔」と墨書あり。

第六議會に対する立憲革新党の報告／佐藤要一／佐藤要一／明治27年

呈貴族院衆議院議員諸君 東邦関係／奉公会／奉公会／明治27年

※精神 号外 非解散意見／〔近衛篤磨〕／精神社／明治27年6月11日

※立憲改進黨党報 〔第23号〕／／立憲改進黨党報局／明治27年1月13日

対清策／藤田達芳／藤田達芳／明治27年 or 28年

日英条約改正記事／外務省／外務省／明治27年カ （注）活版，書誌的事項なし，タイトル・作成者は  
表紙に墨書のを記載

【明治28年】

旧林田藩卒復禄復族請願書之写／藤井庄五郎／藤井庄五郎／明治28年

時事問題 輿論演説／三好守雄／学友館／明治28年

第八議會／真下珂十郎／真下珂十郎／明治28年

懲戒解除恩免請願／佐藤志郎／佐藤志郎／明治28年

東洋治安策／島田三郎・島谷部銃太郎／毎日新聞社／明治28年

幕府衰亡論／福地源一郎／民友社／明治28年（5版，明治25年初版）

【明治29年】

小絃集／香川悦次／政教社／明治29年

第九議會報告書〔進歩党所属議員・丙申俱樂部所属議員〕／坂本徳之進／坂本徳之進／明治29年

断雲流水／三宅雄二郎・志賀重昂述・香川悦次編／政教社／明治29年

新潟県地価持姓名録／桜井熊太郎／桜井書店／明治29年

日本ニ於ケル現時ノ危難ト急務／クレ＝マコーレー著・蓮沼磐雄訳／蓮沼磐雄／明治29年

明治廿七年法律第二十号ニ付請願／足立武之助／足立武之助／明治29年

※偕行社記事 附録〔第465号附録〕 国体ト憲法ノ運用／／東京偕行社／明治29年2月25日 （注）  
上杉慎吉の講演

蹇蹇録／陸奥宗光／／明治29年カ （注）活字本，第二次刊本

蹇蹇録／陸奥宗光／／明治29年カ （注）謄写版，第二次刊本の写しか，発行年不明につきここに分  
類

【明治30年】

雑居準備憂国之涙／安田琢崇／万翠書院／明治30年

増税得失論／石塚剛毅／二見書房／明治30年

第十議會報告書〔進歩党所属議員・丙申俱樂部所属議員〕／円城寺清／円城寺清／明治30年 （注）衆  
議院議員佐藤忠望書簡が挟み込まれている

【明治31年】

足尾銅山鉍毒事変 請願書并始末略書草稿／田中正造編／加藤兼吉〔足尾銅山鉍毒事変処分請願事務所・

林茂氏旧蔵図書について (1)

足尾銅山鉍業停止請願同盟事務所] / 明治 31 年

板垣伯意見 立憲政体之妙用 四版 / 板垣退助 / 高知堂 / 明治 31 年 (4 版, 同年初版)

鶯溪演説集 / 望月小太郎 / 大日本社 / 明治 31 年

公平選挙法 再版 / 根本正 / 高知堂 / 明治 31 年 (2 版, 明治 29 年初版)

副島先生蒼海閑話 (再版) / 片淵琢編 / 研学会 / 明治 31 年 (2 版, 同年初版)

泰西氣運一転ノ機 議員制度ノ末運 / 古沢滋 / 三島良忠 / 明治 31 年

幕末小史 卷一 / 戸川残花 / 春陽堂 / 明治 31 年

漫興雜記 / 渡辺為藏 / 民友社 / 明治 31 年

労働者起抗論 / 奥真律 / 瑞穂堂 / 明治 31 年 (注) コピー, 製本済

※党報 [第 5 号] / / 憲政党党報局 / 明治 31 年 10 月 5 日

※静岡民友新聞 附録 [第 2030 号附録] 解散始末政変由来 / 森田勇次郎 / / 明治 31 年 7 月 17 日

※進歩党党報 [第 18 号] / / 進歩党党報局 / 明治 31 年 1 月 2 日 (注) 一枚物

※日本国教大道叢誌 号外 王道弁論 / 鳥尾小弥太・川合清丸編 / 日本国教大道社 / 明治 31 年 10 月 21 日

【明治 32 年】

外交官領事官制度 / 原敬 / 警醒社 / 明治 32 年

勝伯昔日譚 / 水魚庵編述 / 富士書店 / 明治 32 年

財政と国力 / 浜口吉右衛門 / 中竜児 [国光社] / 明治 32 年

歳費辞退 田中正造翁 / 左部彦次郎 / 左部彦次郎 / 明治 32 年

小文章 / 川崎三郎 / 博文館 / 明治 32 年

幕末小史 卷三 / 戸川残花 / 春陽堂 / 明治 32 年

藩閥之将来 / 外山正一 / 博文館 / 明治 32 年

名流談海 / 大橋又太郎 / 博文館 / 明治 32 年

※憲政党党報 [第 1 卷第 9 号] / / 憲政党党報局 / 明治 32 年 4 月 8 日

※憲政党党報号外 / / 憲政党党報局 / 明治 32 年 4 月 10 日

※党報 [第 3 号] / / 憲政本党党報局 / 明治 32 年 1 月 1 日

※党報 [第 4 号] / / 憲政本党党報局 / 明治 32 年 1 月 20 日 (注) 破損大

【明治 33 年】

学商福沢諭吉 / 焉用氏 / 大学館 / 明治 33 年

経筵進講録 / 吉本襄編 / 鉄華書院 / 明治 33 年 (注) 元田永孚の書

[建議案 足尾銅山鉍毒事件関係] / 蓼沼丈吉 / 蓼沼丈吉 / 明治 33 年

娼妓存廢内外大家論集 / [建国新報社編] / 建国新報社 / 明治 33 年カ

【明治 34 年】

足尾銅山鉍毒被害救済請願書 / 青年同志鉍毒調査会 / 青年同志鉍毒調査会 / 明治 34 年

一年有半 / 中江篤介 [兆民] / 博文館 / 明治 34 年

一年有半 / 中江篤介 [兆民] / 博文館 / 明治 34 年 (8 版)

一年有半 / 中江篤介 [兆民] / 博文館 / 明治 43 年 (29 版)

時事談 / 鳥尾小弥太 / 大道社 / 明治 34 年 (3 版, 明治 24 年初版)

続一年有半 / 中江篤介 [兆民] / 博文館 / 明治 34 年 (5 版, 同年初版)

続一年有半 / 中江篤介 [兆民] / 博文館 / 明治 34 年 (7 版)

太平洋策 / 佐藤虎次郎 / 佐藤虎次郎 / 明治 34 年

露西亜論 / 内田甲 [黒竜会] / 黒竜会 / 明治 34 年

経済講究要領／立憲政友会有志経済講究会／立憲政友会有志経済講究会／明治34年カ

財政整理要書／／／明治34年カ

清国償金処分ニ関スル意見／三四俱樂部／三四俱樂部／明治34年カ

栃木県下都賀郡谷中村大字下宮小字上本郷 生産死亡比較表／／／明治34年カ，明治34年1月調

【明治35年】

足尾銅山鉍毒被害生命救護請願人兇徒囂衆被告事件 控訴公判農科医科証人調書／／／明治35年

足尾銅山鉍毒被害非命死者救護請願人 兇徒囂衆被告事件 控訴公判判決謄本／鉍毒事務所／鉍毒事務所／明治35年

足尾銅山鉍毒被害非命死者救護請願人 兇徒囂衆被告事件 大審院判決謄本／足尾銅山鉍業停止期成同盟会事務所／足尾銅山鉍業停止期成同盟会事務所／明治35年

海軍拡張と財政／グスターフ＝シュモルラー，アドルフ＝ワグネル著，阿部秀助訳／民友社／明治35年

鉍毒被害地救済仏教者同盟会報告／仏教者同盟会事務所／仏教者同盟会事務所／明治35年

鉍毒地被害民救済事業第一期報告／鉍毒地被害民救済仏教有志会／鉍毒地被害民救済仏教有志会／明治35年

国民同盟会始末／国民同盟会／政文社／明治35年

時弊小言／赤石定蔵／赤石定蔵／明治35年

第十五帝国議会鉍毒問題始末書／内田太七編／鉍毒事務所／明治35年

第十六議会ニ於ケル代議士鈴木万次郎氏鉍毒其他ニ関スル質問演説集／足尾銅山鉍業停止期成同盟会事務所／足尾銅山鉍業停止期成同盟会事務所／明治35年

兆民先生／幸徳秋水／博文館／明治35年

中江兆民遺稿 警世放言／中江丑吉／松邑三松堂／明治35年

北海道私見／近衛篤磨／赤石定蔵／明治35年

【明治36年】

足尾銅山鉍毒被害人命救護請願人兇徒囂衆被告事件 宮城控訴院判決書／鉍業停止期成会／鉍業停止期成会／明治36年

偉人断片／小谷保太郎／吉川弘文館／明治36年

外政時言／建部遯吾／有朋館／明治36年

県下黨員名簿／帝国党烏根支部／帝国党烏根支部／明治36年

鉍毒ト人命／左部彦次郎／須藤幸次郎／明治36年

支那啓発論／佐藤虎次郎／横浜新報社／明治36年

【明治37年】

軍国経済論／無名氏／郁文舎／明治37年

征塵録／剣南〔小山田淑助〕／中野書店／明治37年

大塊一塵／三宅雄二郎／政教社／明治37年

堪察加薩哈噠／内田良平／黒竜会／明治37年

満州事情／菅又熊之助／春陽堂／明治37年

日露戦争公報録／／／明治37年カ （注）謄写版，37.2.10～7.27の公報録

【明治38年】

大隈伯時局談／大隈重信述，武井宗十郎編／博文館／明治38年（2版，同年初版）

国憲編纂起原／宮島誠一郎／宮島誠一郎／明治38年

第二十一回帝国議会報告／井上甚太郎／井上甚太郎／明治38年

林茂氏旧蔵図書について (1)

日本之将来 八版／矢野竜溪〔文雄〕／近事画報社／明治38年（2版，同年初版）

日露戦局 講話私議／西沢之助／太陽舎／明治38年（2版，同年初版）

泊翁全書第二集 往事録／西村茂樹／西村家図書部／明治38年

ヘーゲルの法律哲学の基礎 法律論叢第十二編／吉野作造／法理研究会／明治38年

兎徒聚衆被告事件予審記録 第一／／／明治38年カ

兎徒聚衆被告事件 別冊／／／明治38年カ

【明治39年】

憲政本党第二十二議会報告書／今井已之吉／憲政本党本部／明治39年

国会同盟ニ関スル件／林田亀太郎／〔衆議院カ〕／明治39年

枢密院官制及事務規程／枢密院／枢密院／明治39年（注）蒟蒻版で明治末年まで訂正貼付

幕末政治家／福地源一郎／民友社／明治39年（4版，明治33年初版）

満韓開務鄙見／内田良平／内田良平／明治39年

【明治40年】

越佐地価持精覧／野沢代次郎／新潟新聞社／明治40年

飢渴 三版／木下尚江／昭文堂／明治40年（3版，同年初版）

大陸策／〔的野半介カ〕／〔的野半介カ〕／明治40年

※憲政本党党報 〔第11号〕／／／憲政本党本部／明治40年5月1日

【明治41年】

韓国ニ於ケル第一銀行／第一銀行／第一銀行／明治41年

憲政本党第二十四議会報告書／今井已之吉／憲政本党本部／明治41年

国憲編纂起原附録／宮島誠一郎／宮島誠一郎／明治41年

小説 墓場／木下尚江／昭文堂／明治41年

輸入原油増税問題ニ対スル輿論／田中角十／田中角十／明治41年

【明治42年】

嗚呼九月五日／山田喜之助／笠井作三／明治42年

史談速記録 第貳百貳輯／桜井精一編／史談会／明治42年

日糖事件記録 前編／／／明治42年カ（注）予審記録

日糖事件記録 後編／／／明治42年カ（注）予審記録

【明治43年】

国民読本／大隈重信／丁未出版社，宝文館／明治43年

証拠品目録／／／明治43年カ（注）謄写版，大逆事件の際のものであり，ここに分類する

明治四十三年特別第一号（第七冊ノ内 第拾參冊） 刑法第七十三条ノ罪／大審院／／明治43年カ

（注）謄写版，大逆事件

明治四十三年特別第一号（第七冊ノ内 第拾四冊） 刑法第七十三条ノ罪／大審院／／明治43年カ

（注）謄写版，大逆事件

【明治44年】

社会主義ト自由思想／ドルワル＝ド＝レゼー，教学研鑽和仏協会訳／教学研鑽和仏協会／明治44年

統北満州經濟調査資料／南満州鉄道株式会社調査課／南満州鉄道株式会社調査課／明治44年

帝国主義論（訂正參版）／大西猪之介／宝文館／明治44年（3版，明治43年初版）

法然と親鸞／木下尚江／金尾文淵堂／明治44年

野人語 第一／木下尚江／金尾文淵堂／明治44年

野人語 第二／木下尚江／金尾文淵堂／明治44年

野人語 第三／木下尚江／金尾文淵堂／明治44年

【明治45年】

一代華族論／板垣退助／社会政策社／明治45年

創造／木下尚江／金尾文淵堂／明治45年

第二十八議會報告書／今井已之吉／立憲国民党／明治45年

帝国海軍の危機／盛田暁／帝国海軍の危機発行所／明治45年

※国民雑誌 〔第3巻第9号附録〕 江戸時代史／ 国民雑誌社／明治45年5月1日

【大正元年】

憲法制定之由来／穂積八束／穂積重威／大正元年

日本之三大急務／内田良平／黒竜会本部／大正元年

※実業之埼玉 〔第7年第7編〕 第11回衆議院議員総選挙紀念／実業之埼玉社／大正元年8月8日

【大正2年】

伊藤博文言行録 偉人研究第七十九編／秋山悟庵／内外出版協会／大正2年

支那觀／内田良平／黒竜会／大正2年

脱党の告白と其の顛末／小寺謙吉／小寺謙吉／大正2年

非常識論／蒼海樓主人／日本書院／大正2年（3版，明治45年初版）

陸軍經理概観／機堂学人／文武堂／大正2年（4版，大正元年初版，3版で改題，原題不明）

立憲同志会加入の理由 買被ぶられたる犬養毅／黒須竜太郎／黒須竜太郎／大正2年

※偕行社記事 〔第465号附録〕 国民ノ現状ヲ述ヘテ精神教育ノ急務ナルヲ論ス／椎川亀太郎／東京偕行社／大正2年

【大正3年】

政府弾劾運動理由書／対支連合会／対支連合会／大正3年

政弊私議／内田良平／黒竜会／大正3年

武士道／板垣退助／板垣退助／大正3年

本邦地租の沿革／日本勸業銀行内毎月会〔有森隆重談〕／日本勸業銀行内毎月会／大正3年

立憲国民訓／大隈重信述，峰間信吉編／中興館書店／大正3年

対支意見草案／東亜同文会／東亜同文会／大正3年カ （注）謄写版

※大国民 〔第66号〕／ 大国民社／大正8年7月12日（4版，7月4日初版）

※大国民 〔第67号〕／ 大国民社／大正8年8月5日（3版，8月1日初版）

※東邦協会会報 〔第227号〕／ 東邦協会／大正3年4月20日

【大正4年】

大隈老伯／渡部外太郎／衆星社／大正4年

議案件名録 可決之部 附累年表／衆議院事務局／衆議院事務局／大正4年

扶眼録 日本国民ノ同盟国民ニ対スル要求／末広一雄／鸞音社／大正4年

最近外交論／大隈重信述，堤康次郎編／公民同盟出版部／大正4年（3版，同年初版）

社会的国民教育 一名青年義勇団／田中義一／博文館／大正4年（2版，同年初版）

選挙干渉一斑／小林雄吾／小林雄吾／大正4年

党派一覧 党派ノ趨勢／衆議院事務局／衆議院事務局／大正4年

日支民族性論（前編）／大隈重信述，堤康次郎編／公民同盟出版部／大正4年

【大正5年】

印度に於ける国民的運動の現状及び其の由来／大川周明／大川周明／大正5年  
大隈侯演説座談／岩崎俎堂／大学館／大正5年（2版，明治42年初版，改題か）  
書斎独語／山路弥吉〔愛山〕／敬文館／大正5年（3版，明治44年初版）  
討閥ノ檄／村山久雄／討閥同盟会／大正5年  
東蒙事情 第二号／参謀本部／参謀本部／大正5年  
民族関係より見たる日露親善論／浅野利三郎／貴族院露国観光団／大正5年  
※国論 〔第2巻第12号〕／／／大正5年（注）和綴じ改装，「爆弾事件の世界的弁論 大場茂馬著」の題あり

【大正6年】

研究会小史／鍋島直虎／？／大正6年（注）コピー，クリップ留，途中切カ  
自治制制定之顛末／大森鍾一述／中央報徳会／大正6年（2版，大正4年初版）  
衆議院解散後に於ける政局大観／佐藤春平／経国社／大正6年  
政局の真相 大隈内閣倒壊顛末 第三十八議會解散顛末／西野雄治／窪寺丑平／大正6年  
第三十九議會報告書／立憲国民党／立憲国民党／大正6年  
寺内内閣の外交と国論／村山久雄／討閥同盟会／大正6年

【大正7年】

帰郷記念 大隈侯爵講演集／大隈侯講演集記念刊行会／大隈侯講演集記念刊行会／大正7年  
自第七回至第十三回 衆議院議員総選挙一覧／衆議院事務局／衆議院事務局／大正7年  
我国に於けるデモクラシーの思潮／内務省警保局／内務省警保局／大正7年

【大正8年】

近世欧米歴史之片影／徳富蘇峰／民友社／大正8年（6版，明治26年初版）  
憲法発布三十年記念 参考叢書第一篇 衆議院三十年誌／衆議院事務局／衆議院事務局／大正8年  
参考叢書第三篇 衆議院議員選挙法改正案ノ沿革／衆議院事務局／衆議院事務局／大正8年  
米価問題ト鈴木商店／合名会社鈴木商店米部／合名会社鈴木商店米部／大正8年  
※国家社会主義 〔第1巻第1号～第4号〕／／／売文社／大正8年4月～8月（注）製本済み  
※歴史地理臨時増刊 維新史研究資料索引／／／日本歴史地理学会／大正8年3月10日  
国家改造案原理大綱／北一輝／／大正8年（注）謄写版，北一輝著作時に分類しておく

【大正9年】

埼玉県第六区選挙顛末録／竜野周一郎／竜野周一郎／大正9年  
朝鮮統治問題／黒竜会本部／高村謹一／大正9年  
ニ港問題に関し普く国民に檄す／曙会編／曙会／大正9年  
尼港問題を通して 所謂時代精神の暴露／五百木良三／河野巳一／大正9年  
日本労働党の本領 無産者叢書第一冊／岡悌治など／日本労働党出版部／大正9年（注）山本亀次郎執筆部分切り取られ存在せず  
比類なき悪政府 原内閣の内治外交を論じて国民の猛省を促がす／森脇源三郎／森脇源三郎／大正9年  
民衆文化の基調 新人会第一会講演集／櫛田民蔵・森戸辰男・大山郁夫・吉野作造／聚英閣／大正9年（2版，同年初版）  
※政友 〔第244号〕／／／立憲政友会会報局／大正9年8月15日  
※明治聖徳記念学会紀要 〔第14巻〕／／／明治聖徳記念学会／大正9年11月20日

【大正10年】

朝日講演集特別刊行 政界革新論集 軍備制限促進意見／鈴木兼吉／朝日新聞社／大正10年  
宮中重大事件に就て／尽忠義会同人／尽忠義会同人／大正10年  
経済組織の改革 現代組織の批判と対応策／片岡直温／片岡直温／大正10年  
小作参考資料 小作組合ニ関スル調査／農商務省農務局編／帝国農会／大正10年  
政治一新論／武藤山治／ダイヤモンド社／大正10年  
大正九年 外務省公表集／外務省情報部／外務省情報部／大正10年  
大正十年（自一月至九月） 外務省公表集 第二輯／外務省情報部／外務省情報部／大正10年  
太平洋問題研究資料第九 ヤップ島問題経過／外務省／外務省／大正10年 （注）コピー仮綴  
天誅事件と改造政治／松高元治／立憲少壮改進党／大正10年  
上院改革私見／江木千之／江木千之／大正10年カ

【大正11年】

戒厳令改正案／作戦資材整備会議調査班／作戦資材整備会議調査班／大正11年 （注）謄写版  
失業と無産階級 労働者問題叢書第十編／林要／労働者問題研究所／大正11年  
社会主義大意 無産社パンフレット（1）／堺利彦／無産社／大正11年  
普選論の駁撃 附録アインシュタイン批判／鈴木鷲山（伝七）／曙光社／大正11年（2版，同年初版）  
再ヒ欧洲ノ危機ヲ見テ我國民ノ覚悟ヲ問フ／／／大正11年 （注）謄写版  
隈侯閑話／池田林儀編／報知新聞社出版部／大正11年（2版，同年初版）  
※偕行社記事 〔第572号附録〕 思想問題に関する一部の研究／／偕行社／大正11年4月  
※主張 〔第1巻第5号〕 原敬記念号／／主張社／大正11年11月1日  
※大観 〔第5巻第2号〕 大隈侯哀悼号／／実業之日本社／大正11年2月1日  
※中外新論 〔第6巻第7号〕 変態内閣打破号／／中外新論社／大正11年7月1日  
※万機公論 〔第1巻第3号〕 普選号婦人参政号／／万機公論社／大正11年11月1日  
※暴風雨の中に立ちて 主盟長島隆二〔5月号〕／／国友社出版部／大正11年5月17日  
※早稲田学报 〔第325・326合併号〕 故総長大隈侯追悼号／／早稲田大学校友会／大正11年4月10日  
海軍軍備制限ニ関スル条約説明書／外務省カ／外務省カ／大正11年 （注）ペン書き，内閣用箋，紐綴  
山東懸案細目協定第二委員会議事録／山東懸案細目協定日支共同委員会日本帝国委員事務所／山東懸案細目協定日支共同委員会日本帝国委員事務所／大正11年カ （注）最終文書12月5日付，ここに分類する

【大正12年】

所謂二十一箇条問題／千原楠蔵／世界思潮研究会／大正12年  
因習打破論／横田千之助／民衆仏教団出版部／大正12年（9版，大正11年初版）  
産児制限研究 パンフレット第一編／野田君子／産児制限研究会／大正12年（2版，同年初版）  
大正十一年（増補再販） 外務省公表集 第三輯／外務省／外務省／大正12年  
訂正増補 天子論及官吏論／安岡正篤／社会教育研究所／大正12年（増補2版，同年原版初版）  
日露関係に就ての所見 ヨッフエ氏来遊の情由／後藤新平／後藤新平／大正12年  
排日運動ニ就キテ／清野長太郎／清野長太郎／大正12年  
非地租委譲論／下岡忠治／下岡忠治／大正12年  
百姓はなぜ貧乏する乎 日本農民組合パンフレット第一編／行政長蔵／日本農民組合総本部／大正12年  
ヨッフエ君に訓ふる公開状（露西亜自らの承認権放棄）／北一輝／北一輝／大正12年



林茂氏旧蔵図書について (1)

利潤の出处 原名『価値と価格と利潤』 無産社パンフレット (4) /マルクス著、堺利彦訳/無産社/  
大正 12 年

※麻布連隊区将校団臨時報 [第3号] 子爵金子堅太郎閣下講演 日露戦争当時に於ける内地と米国と  
の関係/麻布連隊区将校団/麻布連隊区将校団/大正 12 年

小作争議と日本農民組合及旧労働農民党ノ関係ニ就テ/宮城県/宮城県/大正 12 年カ

【大正 13 年】

いかけ松 共有社パンフレット (No.3) /堺利彦/共有社/大正 13 年

居直りした二人の盗賊の話/今吉一雄/神戸社会問題研究所/大正 13 年

上杉鷹山の政道/大川周明/社会教育研究所/大正 13 年

階級意識とは何か 失業と無産階級 パンフレット第二編/林要/労働問題研究所/大正 13 年 (2 版, 大  
正 11 年初版)

搾取の話 労働者小作人パンフレット/北原竜雄/共生社/大正 13 年

社会運動に投ぜんとする青年に与ふ 進めパンフレット第一輯/田口運蔵/進め社/大正 13 年

政界革新運動と実業同志会/武藤山治/実業同志会/大正 13 年 (2 版, 大正 12 年初版)

一九二四年米国民法制定及之ニ関スル日米交渉経過/外務省/外務省/大正 13 年

一九二四年米国民法制定及之ニ関スル日米交渉経過公文書英文附属書/外務省/外務省/大正 13 年

第十五回衆議院議員総選挙一覧/衆議院事務局/衆議院事務局/大正 13 年

対露交渉と日露協会 (大正十二年三月上旬総裁宮殿下に上陳の趣旨) /後藤新平/日露協会カ/大正 13  
年

幕末テロ天誅組 (1) /吉田栄吉/神戸社会問題研究所/大正 13 年

ブルジョアの政治勢力と無産階級の政党/山川均/上西書店/大正 13 年

本邦 労働運動調査報告/小林鉄太郎編/協調会情報課/大正 13 年

満洲に於ける外人経済勢力状況/菊田直次 [満鉄調査課] /南満洲鉄道株式会社庶務部調査課/大正 13  
年

民衆に与ふ 共有社パンフレット (No.1) /藤田浪人/共有社出版部/大正 13 年 (2 版, 大正 12 年初版)

無産政党綱領に関する報告 (一) /政治研究会常務委員会編/政治研究会調査委員会/大正 13 年  
(注) 謄写版

レーニン会見記 ビー・アール社パンフレット第四輯/吉田一/ビー・アール社/大正 13 年

リシヤル告日本国/リシヤル著, 大川周明訳/社会教育研究所/大正 13 年 (2 版, 同年初版)

労働組合の ABC/西尾末広/関西労働同盟会出版部/大正 13 年 (4 版, 初版年不明)

労働組合のすゝめ 岡山県労働組合パンフレット No.1 /山川均・板野勝次/岡山県労働組合出版部/大正  
13 年

※民衆運動 [第1巻第8号] 第三インターナショナル極東大会参加の記/吉田一/ビー・アール社/  
大正 13 年 12 月 24 日

衆議院議員選挙法改正理由書 (未定稿) / / /大正 13 年カ

大正十二年 外務省公表集 第四輯/外務省/外務省/大正 13 年カ

未曾有の非立憲内閣と政友会分裂の真相 / / /大正 13 年カ (注) 政友会系作成

日露問題に就て (再版) /後藤新平/後藤新平/大正 13 年カ (注) 初版年不明, 13 年の講演を印刷

【大正 14 年】

国難来/内田良平/黒竜会/大正 14 年

社会改造の要諦と世界的日本の創造/森伝/大観堂書店/大正 14 年

梅 村 恵 子

西伯利出征私史／西川虎次郎／偕行社／大正 14 年

治安維持法理由／司法省刑事局／司法省刑事局／大正 14 年

農民運動と高松事件／若林三郎／長越信陽堂／大正 14 年

へそ茶／高橋箒庵〔義雄〕／箒文社／大正 4 年（大正 14 年版，2 版）

大正十三年 外務省公表集 第五輯／外務省／外務省／大正 14 年カ

【大正 15 年】

普く在郷軍人諸公に檄す／西田税／星光同盟本部／大正 15 年

オノコロ島―及び国生み神生み 日本民族研究叢書（8）／木村鷹太郎／日本民族協会／大正 15 年

海軍薬剤官生立の記／壁島為造／海軍軍医会雑誌発行所／大正 15 年

実業政治／武藤山治／日本評論社／大正 15 年 （注）荒木貞夫宛無記名書簡（投書，内容：本書送付）

添付

首相暗殺冤罪事件公判録／／黒竜会出版部／大正 15 年 （注）被告内田良平

政治の倫理化／後藤新平／大日本雄弁会講談社／大正 15 年

第十五回衆議院議員総選挙一覽／衆議院事務局／衆議院事務局／大正 15 年

床次総裁に与ふる書／町田辰次郎／町田辰次郎／大正 15 年

内報 労働農民党結成までの経過と其内容／新日本同盟調査部／新日本同盟調査部／大正 15 年

（注）謄写版

日露戦役に関する 金子子爵の講演／佐多猛編／佐多猛／大正 15 年

復興印度の精神的根柢 東洋講座第三輯／大川周明／東洋協会出版部／大正 15 年（2 版，大正 13 年初版）

※憲政公論 〔第 6 巻第 10 号〕／／憲政公論社／大正 15 年 10 月 1 日

※北京満鉄月報特刊第一 聯露か排露か／南満州鉄道株式会社北京公所研究室／南満州鉄道株式会社北京公所研究室／大正 15 年 2 月

【大正期，年代不明】

西比利亜出兵問題〔第一編〕／／／大正 11 年以後 （注）外務省作成カ

西比利亜出兵問題〔第三編〕／／／大正 11 年以後 （注）外務省作成カ，文書最終日付が 11 年

貴族院多額納税者議員互選規則改正理由書（未定稿）／／／大正 14 年頃カ

〔カーネギー万国平和財団日本経済調査会 報告書 第一編戦後概観〕／／／（注）カーネギー万国平和財団日本経済調査会用箋，カーボン

関税法規類纂／／／大正前期 （注）部内参照綴

壮丁読本 稿本／田中義一／／

支那問題参考資料第十四輯 所謂二十一箇条問題／外務省亜細亜局／／（注）亜細亜局大正 9 年～昭和 9 年まで

硬石五拾年譜／内田良平／／（注）謄写版，内田は大正 13 年に 50 歳

【昭和 2 年】

伊藤公の最期／佐藤四郎／哈爾濱日日新聞社／昭和 2 年

今風の働き振り／宇野利右衛門／工業教育会／昭和 2 年

王政復古当時における 芸州藩国事尽力の実歴談／浅野長勲述／広島市小学校長会・波多野文治／昭和 2 年

疑獄松島事件／松林亮／松林亮／昭和 2 年 （注）送付状（印刷）付

協調会大阪支所創設五周年記念 最近労働組合運動史／協調会大阪支所／協調会大阪支所／昭和 2 年

林茂氏旧蔵図書について (1)

- 憲政会内閣の政績／小山松寿編／小山事務所／昭和2年  
憲本聯盟の出現に当面して／佐藤多吉／国政更新聯盟／昭和2年  
財界動揺善後策早わかり／平井国三郎／実業同志会／昭和2年  
政界革新の説 政戦十五年現状打破運動／長島隆二／長島隆二後援会／昭和2年  
政治改造運動 (附) 経済国難に直面して／武藤山治／実業同志会／昭和2年 (10版, 大正13年初版)  
選挙法疑解／百々吾郎／立憲民政党／昭和2年  
対支並に対満蒙の根本的経論／川島浪速述／東亜同志会／昭和2年  
大正十五年昭和元年 外務省公表集 第七輯／外務省／外務省／昭和元年  
日本労農党とは何ぞ／河野密／日本労農党出版部／昭和2年  
浜口総裁演説ノ要旨／立憲民政党／立憲民政党／昭和2年  
普選と憲政会 憲政政策叢書／杉伝三郎／憲政宣伝社／昭和2年  
満州における赤化宣伝事情概要／佐田弘治朗〔南満州鉄道株式会社庶務部調査課〕／南満州鉄道株式会社／昭和2年  
満蒙問題の根本的解決策に関する考察／時局研究会／時局研究会／昭和2年  
無産政党の辿るべき道／吉野作造／文化生活研究会／昭和2年 (9版, 同年初版)  
労働農民党第二回大会提出議案／細迫兼光／細迫兼光／昭和2年  
労働農民党第二回大会報告書／細迫兼光／細迫兼光／昭和2年  
※演説及講演 [第2巻第2号] / / 演説及講演社／昭和2年2月1日  
※社会科学 [第3巻第3号] 理論闘争批判 / / 改造社／昭和2年8月1日  
田中山梨両大将に関する軍事費問題之真相／軍事刷新同志会／軍事刷新同志会／昭和2年カ  
亡國的党争を排し天皇中心政治を高調す／国体擁護同盟本部／国体擁護同盟本部／昭和2年カ  
第三期共産主義運動調査資料〔表紙書き込みタイトル〕, 大正十五年度情勢日次〔内題〕 / / / 昭和2年カ (注) 謄写版, 官憲側の資料  
【昭和3年】  
所謂議會中心主義の釈明を要む／大化会本部／大化会本部／昭和3年  
外交管見／幣原喜重郎講演／百々吾郎／昭和3年  
革命禍に悩む支那 愛国社パンフレット第一輯／三谷亮／愛国社／昭和3年  
〔金子堅太郎講演合綴〕 金子子爵口露戦役遣米始末 (主計会報告第74号附録)・第六回海軍臨時講習に於ける講演速記 余の知れる伊藤公／金子堅太郎述／海軍経理学校／昭和3年  
憲法宮一後篇上／川面凡児／稜威会／昭和3年  
衆議院議員総選挙参考書／衆議院事務局／衆議院事務局／昭和3年  
昭和二年 外務省公表集 第八輯／外務省／外務省／昭和3年カ  
地租委譲と教育費国庫負担研究／松田雪堂／人文会出版部／昭和3年  
特別高等警察資料 [第一輯第一号～第二号] / 内務省警保局／内務省警保局／昭和3年 (注) 合綴製本済み  
特別高等警察資料 [第一輯第三号～第四号] / 内務省警保局／内務省警保局／昭和3年 (注) 合綴製本済み  
普選の第一戦陣 我等斯く戦へり 朝日民衆講座第四輯／刀欄館正雄編／朝日新聞社／昭和3年  
噴火山上の民政党／森田小六郎／古錦堂／昭和3年  
明治昭和 戊辰感想録／文明協会／文明協会／昭和3年  
我が貴族院の執るべき態度 新日本同盟パンフレット (15) / 近衛文麿講演, 関口一郎編／新日本同盟／

昭和3年

※青年 [第13巻第11号] 御大典奉祝号／／大日本連合青年団／昭和3年11月1日  
※政友 [第336号]／／立憲政友会会報局／昭和3年  
※戦旗 [第1巻第8号附録] 新党準備会とその結党／矢島益夫／／昭和3年12月1日  
※文明協会ニュース [第7輯]／／文明協会／昭和3年  
昭和三年 臨時政務調査会総会議事速記録並講演筆記集／立憲政友会／立憲政友会／昭和3年カ

【昭和4年】

大津事変実験記／三浦順太郎／三浦順太郎／昭和4年  
海軍々備縮小問題に就て／山梨勝之進述／大阪経済会／昭和4年  
改正 治安維持法資料／司法省刑事局／司法省刑事局／昭和4年  
華府会議後ニ於ケル米國ノ戦備／／／昭和4年 (注) 活版, 対米7割を主張, 海軍関係作成か  
久原通相問題 堀切代議士の演説／菊池武徳／菊池武徳／昭和4年  
軍縮問題 倫敦会議となるまで／海軍軍事普及委員会／海軍軍事普及委員会／昭和4年  
軍縮問題の真相／堀内三郎／堀内三郎／昭和4年  
高等諸学校ニ関スル法令／文部省専門学務局／文部省専門学務局／明治4年  
国史概論 行地社小冊第三／大川周明／行地社本部／昭和4年  
国防の基礎／荒木貞夫述／国本社川越支部／昭和4年  
国家三大問題に就て天下同憂の士に檄す／黒竜会同人／黒竜会本部／昭和4年 (注)「斎藤実子爵旧蔵  
文書 昭和三十一年四月十五日」と表紙書き込み有り  
最近に於ける列国の情勢(参情報昭和三年年報)／参謀本部／参謀本部／昭和4年  
社会主義運動・無産政党運動／三島誠也・相川勝六講演／埼玉県／昭和4年  
昭和三年 外務省公表集 第九輯／外務省／外務省／昭和4年カ  
親愛なる全国の同氏諸君の前に 新労農党樹立の提案／大山郁夫・上村進・細迫兼光／大山郁夫・上村  
進・細迫兼光／昭和4年  
特別高等警察資料 [第二輯第四号]／内務省警保局／内務省警保局／昭和4年  
日本共産党始末記／北一夫／塩川書房／昭和4年(30版, 同年初版)  
日本共産党ノ衆議院議員選挙運動ニ関スル件／警保局保安課／警保局保安課／昭和4年 (注) 謄写版  
日本左翼運動小史／太田黒年男／／昭和4年 (注) 奥付欠  
卑劣極まる政友会の非国民的組織的陰謀／政界廓清聯盟／野崎政助／昭和4年  
不戦条約中「人民の名に於て」の問題／美濃部達吉／日本評論社／昭和4年  
不戦条約文問題に就て／不戦条約御批准奏請反対同盟／不戦条約御批准奏請反対同盟／昭和4年 (注)  
「斎藤実子爵旧蔵文書 昭和三十一年四月十五日」と表紙書き込み有り  
満蒙封策ノ基調／河本大佐[大作]／河本大作カ／昭和4年 (注) 謄写版  
民政党の政策／森脇美樹／文明書院／昭和4年(5版, 同年初版)  
我党と蚕糸政策／立憲民政党／立憲民政党／昭和4年  
※講演 No.84 日本政治史の一考察／内ヶ崎作三郎氏講演／東京講演会／昭和4年8月31日  
[第二次共産党事件第一回検挙被告人表]／／／昭和4年カ (注) コピー, 人員表, インテル出身  
校調などの統計, 原本に「平田検事述」と書き込み有り

【昭和5年】

海軍衛生制度史 第二巻／清水辰太編／海軍軍医会／昭和5年  
各政党の主張『いかなる人を選ぶべきか』／政経研究会／千倉書房／昭和5年

林茂氏旧蔵図書について (1)

- 問島問題の回顧／篠田治策／篠田治策／昭和5年  
韓末外交秘話／西四辻公堯／西四辻公堯／昭和5年 (注) 謄写版  
景気カ不景気カ／犬養毅述、山浦貫一編／誠文堂／昭和5年  
昭和五年二月執行第二次普選に於ける 浜口内閣選挙大干渉記録／南条徳男／政友法曹団／昭和5年  
昭和四年 外務省公表集 第十輯／外務省／外務省／昭和5年  
昭和四年十月現在 東京帝国大学学生生計調査報告／東京帝国大学学生課／東京帝国大学学生課／昭和5年  
政党亡国論／大井一哲／日本社会問題研究所／昭和5年 (15版, 同年初版)  
政党を超越して／石井三郎／皇道義会本部／昭和5年  
政友会罪惡史／政界廓清連盟編〔野崎政助編〕／政界廓清連盟〔野崎政助〕／昭和5年  
世界の風潮とロンドン会議／米村嘉一郎編〔国民政治協会代表〕／国民政治協会／昭和5年  
千九百三十年「ロンドン」海軍条約枢密院下審査会議事要録／外務省欧米局第二課／／昭和5年  
(注) 外務省用紙にタイプカーボン  
全国農民組合第三回全国大会の状況 農村問題資料第六三輯 農民運動資料(昭五) 第三号／下河部良佐編／協同会農村課／昭和5年  
全滿蒙鉄道統一意見書 附全滿蒙鉄道統一計画調査書／内田良平／黒竜会出版部／昭和5年  
対露断行の檄 愛国社パンフレット第三輯／大西忠編／愛国社／昭和5年  
朝鮮前衛党当面の問題／李鉄岳・光宇／左翼書房／昭和5年  
謹で枢密顧問官諸公に呈す／大崎嘉一／大崎嘉一／昭和5年  
強く正しく明るき政治／浜口雄幸／春秋社／昭和5年  
天下憂國ノ士ニ懇フ／北洋協会／北洋協会／昭和5年  
統帥権の消長と戦争の勝敗／奥平俊蔵／恢弘会／昭和5年  
特別高等警察資料 第九号／内務省警保局／内務省警保局／昭和5年  
難局打開の具体策／長尾半平／日本国民禁酒同盟／昭和5年  
浜口内閣の失政を暴露す／憲政時論社編／一葉社／昭和5年  
浜口内閣の執れる 不景気政策の実相／山本熊太郎編／立憲政友会会報局／昭和5年  
立憲政友会報国史(上下二巻) 趣意／立憲政友会報国史編纂部／立憲政友会報国史編纂部／昭和5年  
(注) 編纂趣意書  
労働者・農民の代議士 大山郁夫は斯く叫ぶ／労農党本部調査部編／春秋社／昭和5年 (15版, 同年初版)  
※日本思想 [第6巻第1号]／／無水庵／昭和5年1月1日 (注) 表紙と1ページのみ  
※日本思想 [第6巻第3号]／／無水庵／昭和5年3月1日  
※日本思想 [第6巻第5号]／／無水庵／昭和5年5月1日  
※日本思想 [第6巻第9号]／／無水庵／昭和5年10月1日  
※偕行社記事 [第666号]／／偕行社／昭和5年3月5日  
日本共産党事件顛末／日本工業倶楽部調査課／日本工業倶楽部調査課／昭和5年カ (注) 予審終結決定書抄録  
【昭和6年】  
欧亚連絡運輸會議に就て 交通研究資料第一輯／久保田敬一述、笠松慎太郎編／日本交通協会／昭和6年  
歓迎会に於ける挨拶／内田康哉・江口定条述／大阪經濟会／昭和6年

梅 村 恵 子

- 久原一家言／久原房之助／富山房／昭和6年（2版，同年初版）  
国際聯盟軍縮本会議と日本／本多熊太郎／外交時報社／昭和6年  
国家興亡の岐路に立ちて 九千万同胞に懇ふ／太田藤三郎編／満洲青年連盟／昭和6年  
国民悲痛の叫び―『全国民の借金を半減せよ』に対する投書の中より―／紫雲荘／紫雲荘／昭和6年  
事業沿革之概要／台湾精糖株式会社／台湾精糖株式会社／昭和6年  
最近の農民運動／協調会農村課編／協調会／昭和6年（3版，同年初版）  
商書般庚篇に就て／中江丑吉／中江丑吉／昭和6年  
昭和五年 外務省公表集 第十一輯／外務省／外務省／昭和6年  
政治と改革 金鶏文叢第十三／安岡正篤／金鶏学院／昭和6年  
政治と人物 金鶏文叢第十四／安岡正篤／金鶏学院／昭和6年  
青年部方針書／日本労働組合総連合／日本労働組合総連合／昭和6年 （注）謄写版  
朝鮮独立思想運動の変遷／朝鮮総督府法務局／朝鮮総督府法務局／昭和6年  
第四回全国大会報告並議案／全国農民組合総本部／全国農民組合総本部／昭和6年  
打倒日本―支那の排日教育―／保々隆矣／邦文社／昭和6年（10版，同年初版）  
〔東京地方裁判所ニ於ケル〕第二次日本共産党事件公判傍聴記／辻参正／辻参正／昭和6年 （注）謄写版，辻は判事，公務で作成か  
日本共産党政治テーゼ 無新パンフレット第六輯／第二無産者新聞社／第二無産者新聞社／昭和6年（2版，同年初版）  
日本無産政党史／河野密・赤松克麿・労働党書記局／白揚社／昭和6年  
浜口内閣下に於ける 地方議会の状況 経済調査資料其四／山本熊太郎／立憲政友会会報局／昭和6年  
浜口内閣の不況及失業対策と地方財政 経済調査資料其三／山本熊太郎／立憲政友会会報局／昭和6年  
哈爾濱の露／長瀬春風／村上印刷所／昭和6年（4版，大正9年初版）  
福沢先生伝記完成記念展覧会出品目録／慶應義塾図書館／慶應義塾図書館／昭和6年  
満洲事変後の対日経済絶交運動／上海日本商工会議所／上海日本商工会議所／昭和6年  
満洲事変善後私見／／／昭和6年 （注）活版，極秘印有り，作成者など不明  
満蒙経営に就て 大阪経済会パンフレット／江口定条・斯波忠三郎講述／大阪経済会／昭和6年  
満蒙特殊性の解剖／満川亀太郎／興亜閣／昭和6年  
満蒙に於ける日本の特殊権益 満蒙研究叢書第二輯（満蒙研究第拾六号）／高塚源一編／満蒙研究会／昭和6年  
満蒙の危機 附帝国の満蒙鉄道利権消長史／大石隆基／国交通信社／昭和6年  
満蒙の重大化と実力発動／細野繁勝／巧芸社／昭和6年  
行き詰つたボルシェヴィズム 社会思想パンフレット第四輯／中央報徳会／中央報徳会／昭和6年  
（注）カウツキー著抄訳  
陸軍軍縮と米露の東亜経綸／佐藤慶治郎／日本書院／昭和6年（3版，同年初版）  
陸軍ニ関係アル現行条約／朝鮮軍司令部／朝鮮軍司令部／昭和6年  
※偕行社記事 〔第684号〕／／偕行社／昭和6年9月5日  
※民政 〔第5巻第10号附録〕 浜口前総裁追悼号／／民政社／昭和6年10月1日  
【昭和7年】  
一学究としての所見／三土忠造述／大阪経済会／昭和7年  
金か血か／芳川寛治／芳川寛治／昭和7年 （注）謄写版，日露戦争・韓国併合・現状批判  
憲法上の統帥権に就て／金子堅太郎述〔海軍大学校に於ける講演〕／海軍大学校カ／昭和7年

林茂氏旧蔵図書について (1)

- 建国を語る 謝介石氏講演 講演パンフレット／安木寅基編／東京講演協会／昭和7年  
故井上準之助氏追悼録／熊谷栄之助編／第二高等学校同窓会／昭和7年  
高等諸学校一覧／文部省専門学務局／文部省専門学務局／昭和7年  
高等諸学校統計／文部省専門学務局／文部省専門学務局／昭和7年  
国家主義運動の現勢／協調会労働課／協調会／昭和7年  
国体の真意義・日本の国体 紀平正美・安岡正篤／文部省内 思想問題研究会編／青年教育普及会／昭和7年  
時局微言／川島浪速述／川島浪速カ／昭和7年  
時難に処する我党の指導精神／立憲民政党遊説部編／立憲民政党遊説部／昭和7年  
臣節蹂躪の犬養内閣／国体擁護連盟編／春秋社／昭和7年  
政民両党の政策比較／牧野良三／文教社／昭和7年  
全支排日運動の根源と其史的觀察／陸軍省調査班／陸軍省調査班／昭和7年  
自第一回議會至第六十回 議會衆議院議案件名録／衆議院事務局／衆議院事務局／昭和7年  
対露政策／上田書記官／上田書記官カ／昭和7年 (注) 謄写版, 上田仙太郎カ, 外務省部内文書カ  
徴兵制六十周年に当り 徴兵制の沿革を偲び其の将来に及ぶ／陸軍省／陸軍省／昭和7年  
転換日本の動向／中野正剛／千倉書房／昭和7年  
栃木県闘争事件顛末書／大日本生産党本部／大日本生産党本部／昭和7年  
中条政恒先生略伝／須賀兼嗣／中条政恒翁顕彰会／昭和7年  
日本愛国革新主義／橘孝三郎／橘孝三郎カ／昭和7年 (注) 謄写版  
日本共産党中央部員公判概況 上巻／司法省刑事局思想部／司法省刑事局／昭和7年  
日本労働組合評議会史(第一分冊)／磯村秀次／京都共生閣／昭和7年  
満洲共產運動ノ近情／関東憲兵隊司令部／関東憲兵隊司令部／昭和7年 (注) タイプ謄写版, 古書店にて作成の複製本らしい, 作成古書店不明  
満蒙の我權益／大阪対支経済聯盟著〔高柳松一郎著〕／大阪毎日新聞社・東京日日新聞社／昭和7年  
民政党罪惡史／東京革新記者聯盟編〔梶野正義編〕／武俠社／昭和7年  
民政党内閣の功績 第三輯 (財政経済篇) / 百々吾郎〔立憲民政党本部〕／百々吾郎〔立憲民政党本部〕／昭和7年  
リットン報告書に対する 帝国政府意見書／国際連盟協會／国際連盟協會／昭和7年  
我国最近の地租問題 調査彙報第四輯／藤谷謙二／大阪商科大学経済研究所／昭和7年  
我が満蒙発展の歴史と列国干渉の回顧／陸軍省調査班／陸軍省調査班／昭和7年  
※日本講演通信 [第157号] 第六十三議會と国民同盟の主張／風見章／日本講演通信社／昭和7年9月22日  
※満洲事変関係の体験談と教訓及所見 [偕行社記事第696号附録] / / 偕行社／昭和7年9月  
大川周明著 経済改革大綱(昭和七年稿) / [大川周明] / 調査部第二課／昭和7年カ  
対満蒙措置促進ノ議 / / / 昭和7年カ (注) 謄写版, 内容から作成年は昭和7年初  
富士山上の噴火 / / / 昭和7年カ (注) 謄写版, 陸軍関係の怪文書集, 内容から作成年は昭和7年初  
満州ニ関スル日清交渉会議録／外務省カ／外務省カ／昭和7年カ (注)「秘」印あり, 活版, 外務省箋の挟み込みあり, リットン調査団対策として作成か  
【昭和8年】  
犬養木堂翁／鷲尾義直／社会教育協會／昭和8年

- 諫抗議録／／／昭和8年（注）謄写版，内容：荒木批判・五一五支持，怪文書，『現代史資料』4所収
- 教育勅語渙発の由来と欧米に於ける反響／金子堅太郎述／松阪晴吉等／昭和8年（注）神奈川県立横須賀中学校が昭和5年に刊行のものを松坂らが増刷配布
- 国際聯盟規約第十五条第四項ニ依ル 国際聯盟総会報告書（案）／外務省／外務省／昭和8年
- 昭和七年中に於ける本学内の 学生思想運動の概況／東京帝国大学学生課／東京帝国大学学生課／昭和8年
- 昭和七年に於ける 社会運動の情勢（増補改訂版）／町田辰次郎／協調会／昭和8年
- 政治家の観たる 現代政治と其動向 附録青年学徒より観たる現代政治及政治家／高橋清治郎編／物を聞く会／昭和8年
- 政党 更正か転落か／三上英雄／国運打開研究会／昭和8年
- 政変・是か非か／田村秀吉／政策研究会／昭和8年
- 選挙法改正及政党政治論／斎藤隆夫／民政社／昭和8年
- 中国国民党の輪廓／陸軍省調査班／陸軍省調査班／昭和8年
- 調査彙報号外（五・一五事件陸軍軍法会議公判記事）／陸軍省／陸軍省／昭和8年
- 五・一五事件陸軍軍法会議公判記事一／陸軍省／陸軍省／昭和8年
- 五・一五事件陸軍軍法会議公判記事二／陸軍省／陸軍省／昭和8年
- 五・一五事件陸軍軍法会議公判記事三／陸軍省／陸軍省／昭和8年
- （注）いずれもタイプカーボン，内表紙「調査彙報号外（五・一五事件陸軍軍法会議公判記事）」，その原本か
- 超非常時を民意に問へ／星川豊彦／政界浄化聯盟／昭和8年
- 日米問題ニ付米国当局並ニ識者ノ熟考ヲ促ス／内田良平／黒竜会／昭和8年
- 日満提携の二大要件 交通研究資料第二五輯／堀光亀述／日本交通協会／昭和8年
- 鳩山文相の正体／東亜聯盟青年部／東亜聯盟青年部／昭和8年
- 非常時日本の尖頭に立ちて斎藤首相の不臣を論ず／江藤源九郎／江藤源九郎／昭和8年
- 浜口首相狙撃事件判決書並に佐郷屋留雄特別弁護申請書写／〔愛国法曹聯盟〕／〔愛国法曹聯盟〕／昭和8年
- 満洲問題の基調／新天地編集部／創建社／昭和8年
- 満洲国の容相 第一続編／陸軍省調査班／陸軍省調査班／昭和8年
- 民政党の方針／百々吾郎編／立憲民政党／昭和8年
- 陸軍解剖／島崎英世／月旦社／昭和8年（12版，同年初版）
- 陸軍大臣講演筆記／陸軍士官学校／陸軍士官学校／昭和8年（注）謄写版
- 連盟を脱退したら日本はどうなる？／東京日々新聞社編／東京日日新聞社・大阪毎日新聞社／昭和8年
- ※維新 〔第2巻第4号〕 天皇機関説総批判／／維新社／昭和10年4月1日
- ※インタナショナル 〔第7巻第5号〕／／産業労働調査所／昭和8年4月10日
- ※新日本同盟会報／／新日本同盟／昭和8年10月（注）定期刊行物カ，巻号無し
- 満洲国県参事官制度の重要性／笠木良明／大亜細亜建設社／昭和8年カ
- 【昭和9年】
- 荒木貞夫書簡 斎藤実首相宛／荒木貞夫／？／昭和9年（注）謄写版
- 一木枢府議長に対する世間の誤解 附明治神宮を通じて観たる日本の国民性／山田好文／山田好文／昭和9年



林茂氏旧蔵図書について (1)

梅之実 その一／井上昭／／昭和8年 (注) 謄写版, 血盟団事件井上日召回顧録  
梅之実 その二／井上昭／／昭和9年 (注) 謄写版, 「その一」は8年稿, とともにここに掲載  
海軍軍縮会議と日本の将来／有馬成甫／大洋会／昭和9年  
華府条約を即時廃棄せよ 皇道パンフレット第三輯／国分義一／昭和神聖会／昭和9年  
憲政常道論の迷信 国民運動パンフレット第六輯／北吟吉／国民協会出版部／昭和9年  
公判陳述摘要／星子毅／／昭和9年 (注) 謄写版, 血盟団事件関係  
国防の本義と其強化の提唱／陸軍省新聞班／陸軍省新聞班／昭和9年  
『国防の本義と其強化の提唱』に対する評論集／陸軍省新聞班／陸軍省新聞班／昭和9年  
国家社会主義を排撃す 祖国会パンフレット第一輯／祖国会出版部／祖国会出版部／昭和9年  
国家重要研究事項解説書／資源局／資源局／昭和9年  
思想研究資料 特輯第十三号／司法省刑事局／司法省刑事局／昭和9年  
思想調査資料 第二十五輯／文部省思想局／文部省思想局／昭和9年  
思想問題判断の鍵／皆川治広／報国塾設立事務所／昭和9年  
思想問題判断の鍵／皆川治広／広文社／昭和9年 (2版, 同年初版) (注) 報国塾版と同一内容  
修習参考 板垣退助暗殺事件 (検事調書)／垂水／／昭和9年 (注) 謄写版, テキストか  
修習参考 刑事判決書集 (主トシテ昔ノモノ)／垂水／／昭和9年 (注) 謄写版, テキストか  
出版物を通して見たる最近の世相／菅太郎述／本所厩橋警察署／昭和9年 (注) 謄写版  
上申書／須田太郎／／昭和9年 (注) 謄写版, 血盟団事件関係  
上申書／田中邦雄／／昭和9年 (注) 謄写版, 血盟団事件関係  
上申書／星子毅／／昭和9年 (注) 謄写版, 血盟団事件関係  
昭和六, 七, 八年 外務省公表集 第十二輯／外務省／外務省／昭和9年  
世界革命趨勢大観—飛躍日本の外交—／佐藤慶治郎／日章塾／昭和9年 (6版, 同年初版)  
総長演述／〔小野塚喜平治〕／東京帝国大学／昭和9年  
賊は尊氏一人か—奸賊徳川光圀を撃て—／藤本秀之助・井上五郎／日本不二通信社／昭和9年  
対外国は樹立の急務／内田良平／鈴木一郎／昭和9年  
対角線? 軍部と政党／石井三二馬／敬文堂書店／昭和9年  
高橋は清をあばく／野依秀市／帝都日日新聞社出版部・実業之世界社出版部／昭和9年  
男爵郷誠之助氏弾劾論 パフレット第九輯／鈴木鷺山述／鈴木鷺山／昭和9年  
調査彙報 〔第35号〕 国内思想 (社会) 運動概観 其一／陸軍省／陸軍省／昭和9年  
農民講道館の真精神／横尾惣三郎／農村教育革新協会／昭和9年  
判決要旨／／／昭和9年 (注) 謄写版, 血盟団事件  
没落を急ぐ 華族乱行記—不良貴族転落への種々相—／竹田譲編／世界公論社／昭和9年  
ライヒマン報告書／国際聯盟事務局東京支局訳・赤松祐之編／日本国際協会／昭和9年  
陸軍当局の抱く国防論の正体 時事資料第一輯／安藤元節編／日本合同通信社／昭和9年  
※中央公論社年報 昭和九年版 〔中央公論第49年第1号別冊付録〕／／中央公論社／昭和9年  
共産主義運動概観／／／昭和9年カ (注) 活版, 作成者不明

【昭和10年】

所謂機関説反対運動の状況 (其の一—七) (改題) 国体明徴運動 (其の八—十一)／内務省警保局保安  
課／務省警保局保安課／昭和10年 (注) コピー, 合綴製本  
院外団手記—政民両党首に献ず—／摩天楼・斜塔／時潮社／昭和10年  
右翼第三党樹立の提案／三田村志朗／時事研究社／昭和10年

梅 村 恵 子

- 基隆市産業要覧／桑原政夫／基隆市役所／昭和10年
- 議会と選挙の肅正／朝日新聞社編／朝日新聞社／昭和10年
- 極東の危機に対する意見書／梨本祐平／日本国体研究所／昭和10年
- 軍部と国体明徴問題／小林順一郎／今日の問題社／昭和10年 （注）小林謹呈印刷文付
- 軍部論／永井三郎／先憂社／昭和10年
- 自元禄十三年至明治五年 陰陽暦対照表／外務省文書課／外務省文書課／昭和10年
- 皇国主義 日本精神講習会叢書／鹿子木貞信／大倉精神文化研究所／昭和10年
- 国政一新論叢 第一輯／国政一新会／言海書房／昭和10年
- 国政一新論叢 第六輯／国政一新会／国政一新会／昭和10年
- 国民解放運動之基調／若杉浪雄／憂国社／昭和10年
- 国憲変革の天皇機関説／内田良平述／黒竜会／昭和10年
- 実行輸入税表／大蔵省主税局／大蔵省主税局／昭和10年
- 司法研究 第十九輯 報告書集十 我国に於ける最近の国家主義乃至国家社会主義運動に就て／司法省調査課／司法省調査課／昭和10年
- 肅軍二関スル意見書／村中孝次・磯部浅一／ /昭和10年 （注）謄写版
- 出版警察上より観たる「天皇機関説」概況（其の一）／警視庁検閲課／警視庁検閲課／昭和10年  
（注）謄写版
- 出版警察上より観たる「天皇機関説」概況（其の二）／警視庁検閲課／警視庁検閲課／昭和10年  
（注）謄写版
- （神兵隊事件）天野辰夫手記第一卷（非常時局突破と皇道日本建設前言）／天野辰夫／ /昭和10年  
（注）謄写版，昭和10年東京刑事地方裁判所検事局作成の正誤表付き
- 政界の惑星 床次竹二郎氏の急逝／拳国社／拳国社／昭和10年
- 財団法人国際文化振興会設立経過及昭和九年度事業報告書／国際文化振興会／国際文化振興会／昭和10年
- 聖代の怪事件・帝人疑獄 ブルジョワの墮落か？司法ファッショか？／村田芳太郎／村田芳太郎／昭和10年
- 大審院（昭和十年（れ）第二七六号）判決書（頭山秀三本間憲一郎其他）写／ /昭和10年  
（注）謄写版，五・一五事件
- 台南州要覧／台南州／台南州／昭和10年
- 大日本帝国憲法の解釈に関する見解／帝国在郷軍人会本部／軍人会館事業部／昭和10年
- 第六十七回（昭和十年）帝国議会ニ於ケル海軍軍縮問題ニ関スル質疑及答弁／外務省／外務省／昭和10年  
（注）外務省用紙にタイプカーボン 以下三冊は同時期のものと考えここに掲載
- 〔軍縮会議関係外務省書類1〕英条約案，準備委員会条約案，同説明書，一般軍縮会議ニ於ケル海軍問題〔背表紙タイトル〕／外務省条約局第三課／外務省条約局第三課／昭和10年カ （注）以下の書類（いずれも活字印刷冊子）が合綴，「千九百三十三年三月十六日一般軍縮会議ニ於テ英国代表ノ提出セル軍縮条約案」，「軍縮条約案ノ逐条説明書」昭和6年11月，「軍縮条約案」，「軍縮条約案ノ逐条説明書」昭和6年11月〔同一〕，「一般軍縮会議ニ於ケル海軍問題」昭和8年8月，「一般軍縮会議ニ於ケル海軍問題討議経過」昭和9年6月
- 〔軍縮会議関係外務省書類2〕一般軍縮会議ニ於ケル政治問題〔背表紙タイトル〕／外務省条約局第三課／外務省条約局第三課／昭和10年カ （注）以下の書類が合綴，「Report of the Committee on Security Questions」1933.5.24・謄写版，「Report of the Committee on Security Questions」

林茂氏旧蔵図書について (1)

1933.5.25・謄写版,「侵略国ノ定義ニ関スル議定書」謄写版,「一般軍縮會議ニ於ケル政治問題」昭和8年8月・活字印刷冊子・2冊  
〔軍縮會議関係外務省書類3〕海軍々備縮小會議ト伊太利／外務省／外務省／昭和10年 (注) 外務省用紙にタイプカーボン  
帝国憲法制定の精神 欧米各国学者政治家の評論／金子堅太郎述／文部省蔵版, 皇道会出版部発行／昭和10年  
床次通相五十萬元事件の全貌／帝都日日新聞社編輯局編／帝都日日新聞社出版部／昭和10年  
日本精神の真義と帰趨 第五十七回講演集／安岡正篤述／啓明会事務所／昭和10年  
日本精神論の調査 思想調査資料特輯／文部省思想局／文部省思想局／昭和10年  
八聖殿講演集 第二輯／岡野竜一編／日本講演通信社／昭和10年  
街のギャング検挙物語／現実処編／現実処／昭和10年  
満洲国国旗 参事官の永久的使命／笠木良明／大連細亜建設社／昭和10年  
立憲政友会政務調査会総會議事速記録／立憲政友会／立憲政友会／昭和10年  
立憲民政党政策講演集／池田超爾編／民政社／昭和10年  
我が国に於ける国家主義団体 社会教育パンフレット第二百三十一輯附録／社会教育協会／社会教育協会／昭和10年  
※帝国大学新聞 〔第602号〕 創刊十五周年記念号／／帝国大学新聞社／昭和10年12月4日  
緊急施策基礎案／／／昭和10年カ (注) 謄写版, 作成者不明  
【昭和11年】  
相沢中佐の片影／瀬尾栄太郎／国際探訪通信社出版部／昭和11年  
海軍軍縮協定不成立と我國民の覚悟／海軍省海軍軍事普及部／海軍省海軍軍事普及部／昭和11年  
議院制度調査会総會議事速記録 (第一回)／議院制度調査会／議院制度調査会／昭和11年  
議院制度調査会総會議事速記録 (第二回)／議院制度調査会／議院制度調査会／昭和11年  
議會開會期ノ變更ニ関スル特別委員會議事速記録 (第一回乃至第三回)／議院制度調査会／議院制度調査会／昭和11年  
議會開會期ノ變更ニ関スル特別委員會議事速記録 (第四回及第五回)／議院制度調査会／議院制度調査会／昭和11年  
議會開會期ノ變更ニ関スル特別委員會議事速記録 (第六回)／議院制度調査会／議院制度調査会／昭和11年  
貴族院改革問題／喜多莊一郎／今日の問題社／昭和11年  
貴族院制度改革問題に就いて／安東正臣／安東正臣／昭和11年 (注)「法律時報」263号 (昭和6年8月15日) 掲載の物  
貴族院制度調査會議速記録 (第一回)／貴族院制度調査会／貴族院制度調査会／昭和11年  
貴族院制度調査會議速記録 (第二回)／貴族院制度調査会／貴族院制度調査会／昭和11年  
貴族院制度調査會議速記録 (第三回)／貴族院制度調査会／貴族院制度調査会／昭和11年  
軍縮會議の暗礁 脆弱性 (バルネラビリテイ) 問題の真相／海軍省海軍軍事普及部／海軍省海軍軍事普及部／昭和11年  
郷軍本然の使命 国体明徴達成への一考察／植松源伍／郷軍明徴同志会／昭和11年  
最近我国に於ける議會制度改革論／警保局調査室／警保局調査室／昭和11年  
思想団体名簿 調査彙報第五十三号／陸軍省／陸軍省／昭和11年  
時代の思想を顕現せる 天理教と大本教／内田良平／黒竜会／昭和11年

- 社会大衆党特別議会闘争報告書／社会大衆党出版部／社会大衆党出版部／昭和11年  
上申書 大川周明博士の思想的立場と政治的実践（改訂版）／金内良輔編／高橋喜蔵／昭和11年（改訂  
重版，同年初版）  
昭和十一年二月施行 第十九回衆議院議員総選挙結果調／内務省警保局／内務省警保局／昭和11年  
世界赤化の危機と 人民戦線の解剖 支那抗日人民戦線の真相／山崎文雄／世界公論社／昭和11年  
（4版，同年初版）  
政党亡国論 憲法は誰が守るか／永井了吉／今日の問題社／昭和11年  
石油国策論集／長谷川尚一／中西貞一／昭和11年（3版，同年初版）  
選挙制度調査会特別委員会議事速記録（第三号）／選挙制度調査会／選挙制度調査会／昭和11年  
選挙制度調査会特別委員会議事速記録（第四号）／選挙制度調査会／選挙制度調査会／昭和11年  
選挙制度調査会特別委員会議事速記録（第六号）／選挙制度調査会／選挙制度調査会／昭和11年  
選挙制度調査会特別委員会議事速記録（第八号）／選挙制度調査会／選挙制度調査会／昭和11年  
選挙制度調査会特別委員会議事速記録（第十号）／選挙制度調査会／選挙制度調査会／昭和11年  
選挙制度調査会特別委員会議事速記録（第十一号）／選挙制度調査会／選挙制度調査会／昭和11年  
選挙制度調査会特別委員会議事速記録（第十三号）／選挙制度調査会／選挙制度調査会／昭和11年  
選挙制度調査会特別委員会議事速記録（第十六号）／選挙制度調査会／選挙制度調査会／昭和11年  
総長式辞及告辞／〔長与又郎〕／東京帝国大学／昭和11年  
第十九回衆議院議員総選挙一覽／衆議院事務局／衆議院事務局／昭和11年  
大日本帝国憲法と制定の由来／東京市役所／東京市役所／昭和11年  
直ちに燃料省を新設せよ／長谷川尚一／長谷川尚一／昭和11年  
東亞の現勢と外交国策／芦田均／国政一新会／昭和11年  
統制経済を批判し大特権官僚的独占商業 産業組合を裁く／渡辺鍬蔵／米の日本社／昭和11年  
特別議会と米穀自治管理法案 米穀問題パンフレット第一輯／日本米穀協会編／日本米穀協会事務局／昭  
和11年  
永田事件の公判記録（改訂版）／高雄辰馬編／今日の問題社／昭和11年  
日露戦役の実績に鑑みて 国際現勢と帝国海軍／海軍省海軍軍事普及部／海軍省海軍軍事普及部／昭和11  
年  
日本及日本人の道 附明心見道銘／川島浪速／文粹閣／昭和11年  
日本赤十字社病院五十年略史／／日本赤十字社／昭和11年  
橋本綱常先生小伝／日本赤十字社病院／日本赤十字社病院／昭和11年 （注）日本赤十字社病院創立五  
十周年絵葉書挟み込み  
叛乱事件に関する当局発表輯／警保局／警保局／昭和11年  
叛乱事件に関する当局発表輯／警保局／警保局／昭和11年 （注）上と同一物，新聞切り抜きの綴じ込  
みあり  
北支の情勢に流るゝ基本精神／川島浪速述／満鮮協会／昭和11年  
露国政府ノ極東外交機密文書 第三輯第二巻 調査第五九号／外務省調査部／外務省調査部／昭和11年  
（注）昭和12年に第三巻あり  
※錦旗公論 〔第4巻9月特輯号〕 皇国の安危とユダヤ財閥の暗躍 国運の消長を決する電気国有論／  
本多葵堂／大日本錦旗会本部／昭和11年  
※理想 〔10月号〕 現代自由主義論／／理想社／昭和11年  
昭和維新の指導原理と政策／／／昭和11年カ （注）謄写版，作成者不明

林茂氏旧蔵図書について (1)

【昭和12年】

- 既成政党の没落期迫る 政友会は立党の本義に還れ／川村数郎／国権社／昭和12年  
軍司法部軍を誤る／安藤守義／小林書房／昭和12年  
国際関係から見た支那 支那問題叢書／尾崎秀実／第二国民会出版部／昭和12年  
国体の原理／今泉定助述／清明会／昭和12年  
国内石油資源開発に関する応急対策／長谷川尚一／長谷川尚一／昭和12年  
国内石油資源開発に関する建白書について／長谷川尚一／長谷川尚一／昭和12年  
祭政一致と惟神大道／井上哲二郎述／東亞民族文化協会／昭和12年  
時局管見／末次信正述／日本貿易協会／昭和12年  
時局所見／南洋研究会／南洋研究会／昭和12年  
支那事変関係公表集（第一号）／外務省情報部／外務省情報部／昭和12年  
司法資料 第二百三十二号／司法省調査部／司法省調査部／昭和12年 （注）李鴻章襲撃犯公判記録  
昭和十二年度執務報告／欧亜局第一課／欧亜局第一課／昭和12年  
神兵隊事件特別公判（一）／警視庁／警視庁／昭和12年 （注）謄写版，警視総監から内相・法相・検  
事総長・府県長官に宛てた「神兵隊事件大審院特別公判開廷ノ件〔第1報～第39報〕などの合綴。  
昭和14年に（二）（三）あり。  
神兵隊の告り直しと其精神／片岡駿／片岡駿／昭和12年  
真理と戦争／三井甲之・蓑田胸喜／原理日本社／昭和12年  
政治家 政治学叢書2／戸沢鉄彦／岩波書店／昭和12年  
世界の動向と日本（二）／荒木貞夫述／日本パンフレット協会／昭和12年  
選挙運動の心得／内務省／内務省／昭和12年  
総長式辞／〔長与又郎〕／東京帝国大学／昭和12年  
帝国及列国の陸軍 昭和十二年版／陸軍省／陸軍省／昭和12年  
帝人事件判決書／／／昭和12年 （注）謄写版  
天皇親政論／三井甲之／原理日本社／昭和12年 （注）原理日本社のチラシ（1月20日）挟み込み  
日独同志会小冊子〔1～5輯・無番合綴〕／／日独同志会／昭和12年 （注）1 黒田礼二『日独防共協  
定の意義』・2 杉山謙治『最近に於けるコミンテルン活動の状況』・3 藤沢親雄『列強の世界観と  
日本民族の使命』・4 松本徳明『ナチス独逸と日本』・5 藤沢親雄『防共協定の強化と国民精神総  
動員』・藤沢親雄『新興ナチス独逸と傾く英国の印象』  
日本主義運動と時局協議会／伊藤隆文編／今日の問題社／昭和12年  
日本の皇道と満州の王道／井上哲二郎述／東亜民族文化協会／昭和12年  
被告人島田茂外十六名ニ対スル背任，瀆職，偽証被告事件予審終結決定書写／東京刑事地方裁判所検事  
局／東京刑事地方裁判所検事局／昭和12年 （注）帝人事件関係  
北支事変の概要 第二号／陸軍省新聞班／陸軍省新聞班／昭和12年  
本邦関税改正批判／川島信太郎／／昭和12年 （注）「外交時報」772号抜刷  
明治・大正・昭和議会政治裏面史／東京日日新聞社・大阪毎日新聞社編／東京日日新聞・大阪毎日新聞発  
行所／昭和12年  
安田鍔之助手記 第二巻／安田鍔之助／／昭和12年 （注）予審検事宛の上申書の謄写版，一応ここ  
に分類する，第一巻は欠  
安田鍔之助手記 第三巻／安田鍔之助／／昭和12年 （注）予審検事宛の上申書の謄写版，一応ここ  
に分類する

梅 村 恵 子

- 山崎壯重述 外国人迎接の心得 本野盛一述 刻下の外交問題に就いて 日本文化講座第十五輯／帝国教育会第七回世界教育会議日本事務局／帝国教育会第七回世界教育会議日本事務局／昭和12年  
露国政府ノ極東外交機密文書 第三輯第三卷 調第一一一号／外務省調査部／外務省調査部／昭和12年  
(注) 昭和11年に第二巻あり
- 我海外発展と対英米関係／森電三(南洋学人)／森電三／昭和12年(2版, 同年初版) (注) 謄写版,  
初版に内容加除あるらしい
- ※国際経済週報 [第18巻第41号] / / 同盟通信社／昭和12年10月14日
- ※同盟旬報 [第1巻第12号] / / 同盟通信社／昭和12年10月27日
- ※普専学会論集 第三輯／普成専門学校普専学会／普成専門学校普専学会／昭和12年 (注) 内容：崔  
泰永「希伯来法(Torah)研究」[ハングル], 渡辺勝美「朝鮮開国外交史」, 金洸鎮「高句麗社会  
の生産様式」, J.W.CHOI「ON HUMANISM OF IRVING BABBITT」